官 善花

1. 授業の概要(ねらい)

本講義では、なぜ犯罪が生じるのかについて,生物学,心理学,社会学等を利用した分析手法を取り上げる。前半では、犯罪統計を的確に読み、犯罪の動向や犯罪者の動向を把握する。その後、日本の刑罰制度の現状を分析する。後半では、犯罪生物学をはじめとする犯罪理論を学び、犯罪と刑罰について理解を深める。

2. 授業の到達目標

- ① 日本の刑罰制度のついて説明することができる。
- ②犯罪理論について説明することができる。
- ③個別の犯罪対策について自分の意見をまとめることができる。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験の成績(70%)

適宜、小テスト・リアクションシート(30%)

4. 教科書·参考文献

教科書

教科書は特に指定しません。レジュメを配布します。

参考文献

5. 準備学修の内容

事前に配布された資料を読んで来てください。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

1. 1X V. 1.11.			
【第1回】	ガイダンス・イ	ントロダク	ション:犯罪学について
【第2回】	犯罪の動向		
【第3回】	犯罪者処遇の	動向	
【第4回】	刑罰制度(1)	死刑	
【第5回】	刑罰制度(2)	自由刑	
【第6回】	刑罰制度(3)	財産刑	

【第7回】 個別犯罪対策(1) 薬物事犯 【第8回】 個別犯罪対策(2) 高齢者犯罪

【第9回】 犯罪学と刑事政策

【第10回】 犯罪原因論(1) 古典派犯罪学、犯罪生物学 【第11回】 犯罪原因論(2) 犯罪心理学的アプローチ 【第12回】 犯罪原因論(3) 犯罪社会学的アプローチ 【第13回】 新たな展開(1) ラベリング論、コントロール論 【第14回】 新たな展開(2) 環境犯罪学(オンライン)

【第15回】 まとめと試験